

# 同援だより

2019年 盛夏号 (183号)



## 共生社会へ

常務理事 中島 昭



飯山理事長体制も二期目に入りまし  
 た。この一年は、法人のガバナンス強  
 化とともに働き甲斐のある職場づくり  
 を進め安定した法人運営を図ってまい  
 りました。

先月開催された理事会及び定時評議  
 員会において、平成三十年度事業報告  
 及び決算が承認されました。会計監査  
 人による指導助言もあり、法人のガバ  
 ナンス強化が進み、前  
 年度と比較して改善が見られた決算内容となりまし  
 た。五月に開設した昭高郷高年齢者複合施設の赤字幅が半分  
 になったことが主な要因です。昭高郷高年齢者複合施設  
 支改善がみられたものの厳しい状況が続いています。

今年度は、昭高郷高年齢者複合施設を中心とした  
 「地域包括ケアシステム」の更なる推進を図ると同時に昭高郷  
 院の収支改善を最重要課題として取り組みます。具体的には、  
 加算請求や七月からの訪問診療開始等により診療報酬増を図  
 るとともに人件費等の費用について、徹底的な見直しを図り  
 ます。一方、電子カルテシステムの導入により病院機能を強  
 化し、患者サービスの向上と職員の労働環境改善を図り、地  
 域ニーズに応えられる医療機関を実現します。

また、サンライズ青山跡地の有効活用を図るため、来年三  
 月完成を目的に集合賃貸住宅を建設し、その家賃収入により  
 利用者サービスの向上や職員の定着を図ることとします。

働き甲斐のある職場づくりについては、職員宿舍借上げ制  
 度や処遇改善加算を最大限活用するとともに、再雇用職員給  
 与の改善などの処遇改善を進めました。一方、昨年度実施し  
 た例月給や賞与の改善を踏まえ、全職員について、人事考課  
 による昇給から定期昇給に変更するとともに、期末勤勉手当  
 に成績給を導入するなどの見直しを行い、職員の働き甲斐を  
 維持しながらも将来的には人件費を適正な水準に保つことを  
 目指します。

社会福祉法人にとって、人材、特に介護職員の確保は最大  
 の課題となっています。昨年度、介護職員については、採用  
 の希望数の三割しか確保できなかったことを受け、当法人も、  
 この十月から、介護職員に外国人技能実習生を受け入れる予  
 定です。受け入れる以上は、法人を挙げて相互交流に努めて  
 安心して働ける職場を提供するとともに、将来的には実習生  
 の母国への介護技術の移転を実現したいと思っております。実習生  
 受入を契機として、今後も相互に人材交流が継続するよう  
 共生社会を実現したいと思っております。

新 任 挨 拶



法人事務局  
施設部長  
根本 昌廣

この度、金田前施設部長の後を継いで、私、根本昌廣が施設部長を拝命致しました。

昨年は、施設部次長として主に法人内検査を担当し、法人事務局職員の協力を得て社会福祉施設（社会福祉事業）・昭島病院（公益事業）・事業局（収益事業）の三十一施設の検査を行いました。この内検を通し、各施設の事業内容と当面の課題等を知ることが出来た事や各施設長と業務を担当する職員から事業運営の実態と課題への取り組み状況や職種上の悩み等について聞くことが出来ました。その中で人材不足・人材育成、建物設備の老朽化対応とその財源確保、利用者数の減少による事業稼働率の低下など、いずれも早急に解決しなければならぬ課題を抱え事業運営をしている現状を改めて認識しました。社会福祉法人制度の改革以後、当法人は、進行する少子・高

齢化社会において、予測される児童人口の減少や後期高齢者の増大による介護福祉事業利用者の増加が見込まれること、福祉サービス利用者のニーズに合わせた事業内容の多様化や利用者の減少による統廃合等の対策、介護人材等の不足が状態化していること、事業収入も介護事業中心に依然低い水準が続いていることなどの背景を踏まえ、将来法人が歩むべき方向を示す道標として、平成三十年度に「中長期計画」を策定しています。この計画の目的は、法人理念の実現とその継続です。今後はこの計画に基づき、組織を継続し成長させることが、私たちの使命となります。計画には四つの基本姿勢「利用者支援サービスの充実」「地域社会への取り組み」「福祉人材の育成と職場環境の整備」「法人組織・マネジメント」が示され、行動指針には課題と具体的な計画内容が示されています。この計画には、安心安全な利用者サービス提供の継続と職員が安心して働ける環境整備も込められています。私は就任にあたり、これまでの経験を活かし、皆さんと共にこの「中長期計画」の目標達成に微力ながら尽力していきたいと思えます。皆様方のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



昭島病院  
副院長兼看護部長  
中野八重美

平成三十一年四月一日付けにて、昭島病院の副院長兼看護部長を拝命いたしました。身に余る光栄とともに重責に身が引き締まる思いです。

昭島病院は急性期医療、地域包括回復期リハビリ病棟を有し、地域の中核病院として地域住民に寄り添った医療を提供しています。私は、長く大学病院での管理（副院長・看護部長）を務めてまいりました。それぞれの病院の機能は大きく異なりますが、病院の共通の目的は、顧客すなわち患者の生命と安全を守ることにあります。その意味から私の役割は副院長兼看護部長として、昭島病院を信頼し利用して下さっている患者や地域住民の方に安全で質の高い医療を提供できる医療環境を、職員の皆様と協力して整えることにあると考えております。

患者が病院を選択する基準は、良質な医療や設備が整備されていることもさることながら、職員が笑顔でやさしく思いやりのある言葉がけをしてくれ、きちんと挨拶及び説明をし、信頼できるなど接遇が重視されていると言われております。接遇の印象が良いと病院の評判は、地域住民の「クチコミ（クチコミほど怖いものは無い）」で広がり、その結果として顧客（患者）が増加します。病院は地域に活かされ地域の人々に支えられるからこそ、その存在の意味があると考えます。

さて、日本は現在社会保障制度の根幹を揺るがす問題として、少子高齢化と世界に類のない超高齢化社会問題があります。二〇二五年に「団塊の世代」が七十五歳以上の「後期高齢者」に一斉になり、さらに増加していくという問題であり、日本の医療・介護政策を大きく変えるものです。国はその対策の一つとして、二〇二五年を目標に地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）を構築し現在推進しています。これは、高齢者の尊厳保持と自立生活の支援を目的とした構想で、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく人生の最後まで暮らし続けることができるようにするというものです。社会福祉法人を母体とした昭島病院の立ち位置、機能、特徴は正に地域の中核病院としてこの役割を果たすことであり、地域からの期待も大きいものと思われまます。

一方で、国は枯渇する医療費の問題などから医療費増大を抑制すべく方策として、診療報酬マイナスイラスト改定をここ数年行ってきました。その影響は大きく、昨今病院経営は非常に厳しい環境にあります。昭島病院も単体で見ますと厳しい経営が強いられています。この難局を乗り越えるには、職員一人ひとりが病院の置かれている状況を認識し危機感を持って、顧客（患者様）獲得と良質な医療提供に取り組み経営改善に貢献することが必要であると考えます。

地域の宝である昭島病院の安定経営及び発展に、職員の皆で頑張ってくださいと思います。ご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

同 援 だ よ り



原町ホーム  
副園長 浅見 友博

今年度より原町ホームの副園長として配属となりました。副園長という責任ある役職を賜り、身の引き締まる思いで一杯です。どうぞよろしくお願い致します。

私は前年度まで昭島市にある特別養護老人ホーム「フジホーム」で介護職員として九年間、生活相談員として六年間勤務してきました。高齢者福祉に希望を持って入職した私にとって、フジホームは介護の基礎と素晴らしさを教えてくれた施設でもあります。もう少し踏み込んで申し上げれば、そこで支援させていただいた利用者の方々に介護の仕事の素晴らしさを教えていただいたと感じています。人の生活を支援するということは、専門性を駆使したり難しい場面に日々遭遇する仕事でもありません。しかし、その難しさの中で利用者からの「ありがとう」といった日々の言葉に私達が癒されているということも現実です。

今後もこれまでの経験を活かし、利用者の生活を支援させていただくということの重みをしっかりと感じながら、原町ホームの理念である『やさしさを起点とした介護』を今まで以上に発展させていければと考えています。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



原町小規模多機能  
居宅介護センター  
副所長 加藤田理恵

この春より、原町小規模多機能居宅介護センターの副所長に就任致しました。私が法人に入職したきっかけは、自宅の近所に法人の施設があり、たまたまアルバイトとして働き始めたのがスタートでした。学生時代は福祉業界で働こうと全く考えていなかったのですが、いざ働き始めると人と接する仕事は自分に向いているのかもと思うようになり、気付けば勤続二十年を経過してしまいました。これまで五ヶ所の施設を経験させて頂き、七年前に原町高齢者複合施設の開設準備として配属され、現在に至っております。

小規模多機能型居宅介護は法人では初めての事業だったことで、軌道にのるまではとてもプレッシャーを感じていました。上手くいかない事も多く、悩みながらの日々でしたがそれを乗り越えられたのは、利用者や職場の仲間が支えて下さったからです。おかげさまで現在では安定したサービス提供が行えるようになりました。今まで利用者、上司、諸先輩方、同僚、後輩、家族とたくさんの方々からのご指導、助言、励ましをいただいたおかげで今日の自分があるのだと思っています。感謝いたします。これからは自分が支えて頂いていた分、それ以上に職員を支え精進してまいります。



昭和郷  
訪問介護センター  
副所長 齊藤 恵美

平成から令和に変わるこの年に昭和郷訪問介護センターの副所長を拝命しました。

私自身はアルバイトとしてニューフジホームに入職し、そのまま高齢施設で勤務し、今年で十九年目になりました。特にこの六年は在宅系のサービスに従事し、五事業に関わることになり、あつという間でした。ここまで関わることできた利用者、家族、地域の方々、上司や同僚に感謝しております。

さて、昭和郷訪問介護センターのある昭和郷高齢者複合施設は開設して三年目を迎えます。今まで高齢施設になかった事業もあり、手探りであったところから、プロとして、利用者一人ひとりの生活を支えることができるようになってきたところだと思えます。とはいえ、現実の利用者の生活は多様で、すべてを支える事の難しさもあります。自分たちのできる範囲で、地域の関係者となつながら、利用者の支えとなる必要だと思えます。そのためにも職員のケアの質を高めていければと考えております。

これからは必要とされるサービス・施設となるべく、職員と共に邁進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



立川福祉作業所  
副所長 木村 泉

平成三十一年四月より立川福祉作業所の副所長を務めさせていただくことになりました。

平成五年に小茂根福祉園に就職し十二年間、平成十七年から福祉ホームさくらんぼで十三年間働いてきました。この二十五年間多くの出会いに恵まれ、その一つ一つが私を成長させてくれたと感謝しながら仕事に向き合ってきました。

立川福祉作業所は、働くことを目的とした施設であるため、職員も利用者も働く者としてプロフェッショナルな姿をいつも見せてくれます。

朝出勤すると、ガラス越しにパンをこねる職人がいます。汚れた大きな鉄板を洗う職人がいます。大きな段ボールを結束し、トラックから降りてくる大きな荷物を両腕でしっかりとつかみ台車で運ぶ、そうかと思えば繊細な手先の作業や箱折り、繊維まみれになりながらのタオルたたみなど、見ているだけでワクワクしてしまう職人さんがたくさんいます。

皆さんに早く追いつけるよう、新しい出会いに感謝し、自分自身も職人のような仕事ができるよう努力していきたいと思います。



昭和郷保育園  
副園長 木下 美佳

四月より、昭和郷保育園の副園長に就任致しました。新たな職場に着任し、現在は一日でも早く利用者・職員との信頼関係を築き、ひとつひとつ丁寧な取り組みを築き、ひとつひとつの場に責任の重さを感じております。また、副園長としての立場に、気持ちを新たに今まで培ってきたことを発揮できるように励んでいきたい所存であります。

昨年度、勤続二十年表彰を頂き入職した頃を懐かしく思い出すと共に、初心に帰ることができました。毎日が緊張の連続でしたが、子ども達の笑顔や保護者からの感謝の言葉、園長をはじめ諸先輩方に温かくご指導を頂き、ここまで来ることができました。また、仲間と意見を交わしながら、子ども達により良い環境が提供できるよう協同してきたことも私の大きな財産となり、感謝の気持ちでいっぱいです。

待機児童問題解消に向け、毎年たくさんのお園が開設されており、その中で、選ばれた園になることを最優先に事業展開していく必要があります。いかに地域から求められるか、地域資源の一つとしての保育園になるかを考えていかなければならないと思っております。また、働き方改革を受け働きやすい職場作りや人材の定着には、より一層尽力していきたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願ひ致します。



つつじが丘保育園  
副園長 堀川 裕子

平成十一年四月に入職し、勤続二十年を迎え、今年よりつつじが丘保育園の副園長を務めさせて頂くことになりました。

子どもの頃からの夢が幼稚園教諭になることでした。学生時代に幼稚園教諭か保育士、どちらになるか迷いながらの実習となりましたが、昭和郷保育園での実習を通して、保育士になりたいという思いが固まりました。そして、縁あって入職させて頂くこととなりました。その当時から、たくさん先輩職員の方や保護者、園児たちと関わらせていただく中で、様々な経験をし、今があるのだと改めて感じています。副園長という立場となり、大きな責任を感じているところではありますが、日々様々なことを学びながら精進していきたいと思っております。

令和元年となり、更に保育の状況も世の中の状況も大きく変わってきています。幼児保育無償化も十月より施行されます。つつじが丘保育園では『実体験を通して五感を育む』を大事にしながら、利用者のニーズも加味し、安心安全でより良い保育が提供できるよう努めていきます。今まで以上に地域の方に信頼される園としてあり続けるよう、職員と力を合わせて運営していきたいと思っております。今後ともご指導よろしくお願ひ致します。



ばれっと  
副館長 倉持 謙由

今年の三月に昭島荘から「ばれっと」への異動の内示を頂いた時、十数年、同胞援護会の施設に携わっているなかで、昭島市役所から「業務委託を受けている施設」という情報しか持っていなかったため、どのような業務を行なうかは未知数でした。

実際に業務に携わってみると、通所や入所施設とは異なり、利用者は日々変わります。お母さんと一緒に笑顔を浮かべて、貸し出しオモチャを受け取る乳幼児や友達同士でパソコンゲームをしたり、園庭で体を動かして遊ぶ小学生、音楽スタジオで楽器を奏でたり、遊戯室でバスケットボールをしたり、ダンスの練習に励む中高生など様々です。

保護者同士の繋がりも含め、児童に関する全般を対象としている大型児童センターとして、子どもたちの居場所作りや憩いの場・社会性の学びの場などの役割を担いつつ、安心して過ごせる施設の運営が求められているように感じています。地域に根差し、親しみをもってもらえる、そして子どもたちの健全な成長の一助となる「ばれっと」を、日々目指していきたいと思っております。

**理事及び監事**

- 理事長 飯山 幸雄  
再任(社会福祉法人経営識見者)
- 常務理事 中島 昭  
再任(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 多久島 耕治  
再任(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 品川 卓正  
再任(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 菅原 眞廣  
再任(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 宮崎 牧子  
再任(社会福祉法人経営識見者)
- 理事 上原 淳  
再任(施設管理者)
- 理事 小林 一己  
新任(事業区域福祉実情者)
- 理事 岡本 勝巳  
新任(施設管理者)
- 監事 鈴木 道生  
再任(財務管理識見者)
- 監事 岩井 令雄  
再任(社会福祉事業識見者)

退 任 挨拶



法人事務局  
前施設部長  
金田 幸雄

昭和五十六年六月一日に、東京都同胞援会に入職して、三十六年十月、勤務させていただきました。社会福祉の素人が、無事、退職まで務めることができたのは、多くの方々への支えのおかげがあったからこそと、深く感謝いたします。

採用後は、大田区にありました「雪ヶ谷母子寮」に書記兼指導員として配属されました。社会福祉の仕事は初めてで、なにもわからず母子生活支援施設（当時は母子寮）に勤務いたしました。毎日、先輩職員から母親の支援、児童の支援、そして事務の仕事の教えていただきましたが、利用者にとって、何もわからない職員が支援している姿をみて不安に映ったと思います。ここでは、「社会福祉とは何なのか」の、最初の一歩を踏み出した四年間でした。その後、昭和六十一年一月に異動があり配属先は、板橋区にある障害者支援施設「小茂根福祉園」でした。

小茂根福祉園は、板橋区からの受託事業で、就労継続支援B型と生活介護の二つの施設がありました。ここで約八年間事務を行ってきました。事務員なので現場に入ることもなく障害をもった人にどのように対応したらいいかわかりませんでした。しかし、時間の経過とともに利用者と接する機会も増え、楽しい時間を過ごしたのが思い出として残っています。

その後、平成八年四月「さいわい福祉センター」に事務員として異動しました。さいわい福祉センターは、東久留米市からの受託事業で、市にとっても民間委託は初めてであり、市との調整が大変だったのが思い出されます。創設施設ということで、準備段階から入り、開所のための職員育成、必要な備品等の準備をした記憶があります。また、さいわい福祉センターは八事業あり職員の勤務割が大変だったのが思い出としてあります。

平成十年四月には港区にある母子生活支援施設「サンライズ青山」に施設長として異動しました。母子生活支援施設には十三年ぶりに戻ってきました。しかし十数年前とは、制度も利用者の入所理由も変わり、世相が母子生活支援施設に反映していると思います。平成十二年四月の異動で、法人事務局施設部長として赴任しました。

当時、法人は、老朽化施設の改築計画がすすんでおり、フジホームから始まり多くの施設改築工事が動きだしていた時期です。また、介護保険制度の開始、公私格差の廃止に伴い給与の見直し、公的施設の民間移譲の受託、障害施設の制度改正、処遇改善等があり、社会福祉の変革と呼ばれる時代に関わったのは幸せだと思います。

最後に三十六年間を振り返ると、出会いと後悔の連続でした。しかし、ここまでこれたのは多くの人の支えがあったからだと思います。長い間ありがとうございました。



評議員	飯村史恵 (学識経験者)
評議員	岡橋生幸 (学識経験者)
評議員	堀茂 (社会福祉事業関係者)
評議員	比留間由真 (地域福祉関係者)
評議員	川向良和 (社会福祉事業関係者)
評議員	田中幸子 (地域福祉関係者)
評議員	本山美八郎 (社会福祉事業関係者)
評議員	五十嵐力平 (社会福祉事業関係者)
評議員	小山寿 (地域福祉関係者)
評議員	古屋正義 (地域福祉関係者)

地域と社会福祉施設



後援会会長  
昭島ガス株式会社  
代表取締役社長  
平畑 文興

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私が平成二十五年に東京都同胞援護会後援会会長をお引き受けして七年目になりました。

後援会は、東京都同胞援護会が行う事業を財政的に援助するとともに、社会福祉事業の一層の発展に寄与することを目的に、昭和五十四年に「賛助会」という名称で発足し、平成十四年からは「後援会」に改称して今日まで、四十年間に亘って事業を行なっております。

後援会には、多くの皆様が個人会員・法人会員として加入していただき、温かいご支援をいただいております。

多くの社会福祉法人と同様に東京都同胞援護会も経営環境は厳しく、多くの施設を抱える社会福祉法人にとって財源の確保は、大きな課題と聞いております。

令和という新たな時代に入り、後援会として、会員を増やし支援の輪をさらに広げていかなければならぬと感じております。

東京都同胞援護会は、幼児から高齢者までの支援のほか、障害者、女性支援等幅広い分野で社会福祉に貢献しており、私がおります昭島市内

にも東京都同胞援護会の多くの福祉施設があります。

高齢者支援では、フジホーム、ニューフジホーム、昭和郷高齢者複合施設、万世敬老園、昭島荘があり、保育支援では、昭和郷保育園、昭和郷第二保育園、つつじが丘保育園、同援はいじま保育園があるほか、医療保護施設として昭島病院があります。

これらの施設では、様々なイベントが行われ、多くの昭島市民も訪れています。

その中でも特に印象深く心に残っているものが、毎年十一月に行われる「昭和郷フェスティバル」です。

職員の方の手作りカレーやパン・雑貨などの販売、そして昭島市内中学校の生徒による吹奏楽の演奏などが行われ、多くの近隣の方や入所者の方が楽しそうに一日を過ごしているのが目に浮かびます。イベントの実施に当たっては、各施設の職員の方の大変なご苦労があったることと推察いたします。

積極的な施設の開放は、福祉施設に対する地域の理解を深め、また、地域の絆をさらに育んでいくものと考えます。

今後も地域と共に歩み、地域の社会福祉を支えていただければと思います。

私も昭島市内で都市ガス事業を営んでおり、地域に密着した事業者として少しでもお役に立つことができれば幸いです。

結びに、東京都同胞援護会の益々のご発展と、職員の皆様の一層のご活躍を祈念いたしました。私のご挨拶とさせていただきます。

ご支援ありがとうございました（敬称略順不同）

ご 寄 付

- ◇ 岩本チズ ◇ 松本和子
- ◇ 原みさ子 ◇ 増川サイ子
- ◇ 池田康子
- ◇ 杉並区和田堀地区  
民生児童委員協議会
- ◇ 国際ソロプチミスト昭島  
イトーヨーカ堂
- 労働組合新宿富久店
- ◇ 小布の会

後 援 会

- ◇ 浅見理恵 ◇ 川杉満吉
- ◇ 山下弘子 ◇ 青木保之
- ◇ 矢部文子 ◇ 中山敬三
- ◇ 久野顕次郎 ◇ 高仲智子
- ◇ 唯野信廣 ◇ 幡野信子
- ◇ 大橋正照 ◇ 南雲栄一
- ◇ 宮奈多摩江 ◇ 木村伊三夫
- ◇ 中村屋魚店 ◇ 伊藤彰浩
- ◇ ヘアパルおかもと 岡本廣
- ◇ 鮫島恭江
- ◇ 旬肉の大高
- ◇ ㈱共伸インテリア
- ◇ 長崎公園ラジオ体操会
- 代表 田村寿重

- ◇ ㈲横溝造園
- ◇ 昭和の森エリアサービス㈱  
スマイルケア昭和の森
- ◇ ㈱豊明
- ◇ ㈲海老山
- ◇ 大山町町会 会長 松野榮仁
- ◇ 創洋紙商事㈱
- ◇ ㈱フソー 代表取締役 山田政宗
- ◇ ㈱キタジマ
- ◇ ㈱金井商店  
代表取締役 金井務
- ◇ ㈱橋本工務店
- ◇ 風間造園㈱  
代表取締役 風間脩一
- ◇ ㈱相田土居設計
- ◇ ㈲リハビリーサービス
- ◇ アーキベルク一級建築士事務所



## 平成 30 年度 事業報告について

2019（令和 1）年 6 月 12 日に開催された理事会、6 月 28 日に開催された評議員会において、「平成 30 年度事業報告」並びに「平成 30 年度決算報告」が承認されましたのでお知らせいたします。

なお、本会の事業報告並びに決算書は頁数が相当数に及びますので、その要旨のみを 7 ページから 9 ページのとおり紙上掲載いたします。

詳細をお知りになりたい方は、当会ホームページ並びに社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムでも公表されます。

法人事務局には「平成 30 年度事業報告・決算報告書」がございますので、事前にお電話で来訪日をお知らせいただければ閲覧していただけます。

## 平成 30 年度 事 業 報 告

平成 30 年度の日本は、大阪北部地震をはじめ、甚大な豪雨被害をもたらした西日本豪雨、更には北海道東部地震など相次ぐ自然災害により各地でインフラが寸断されるなど、経済はもとより、日本列島に深刻な爪痕を残しました。現在でも多くの方々が避難所生活を余儀なくされています。

当会としても、ブロック塀の緊急点検を実施し必要な補修を行うとともに、災害時に備え、外部サービスを活用した緊急連絡網の再構築を行うなどリスク管理体制の充実に努めました。また、各事業所における事業継続のための更なる計画の充実はもとより、昭島地区では、地域町会や医師会、更には地元自治体との広域的な合同防災訓練を行うなど、地域の防災意識を高めるための活動を行ってまいりました。

経営状況につきましては良好に推移しましたが、法人全体の平成 30 年度当期活動増減差額は、ライトホーム並びにサンライズ青山の事業廃止に伴う解体などにより 50,017,467 円となり、対前年度比で 23,718,783 円ほど減少いたしました。サンライズ青山跡地につきましては、新たに収益事業として集合住宅賃貸事業を行い、更なる財務基盤の強化に向けた取組みを行います。昭島病院につきましては、医師や看護師の確保とともに、医療機器の更新など診療機能の充実や紹介患者の受け入れ拡大に取り組んでまいりましたが、厳しい収支状況が続いています。今後は電子カルテシステムの導入により病院機能を強化するとともに、地域住民、関係福祉施設及び地域医療機関等と連携し、超高齢社会におけるさまざまなニーズにも応えられる医療機関を目指し、引き続き全力で収支改善に取り組んでまいります。

組織運営につきましては、会計監査人による定期的な監査の他、法人独自の内部検査体制の強化・充実を図るとともに、中長期計画の行動指針に基づいた適正な事業執行管理に努めました。その結果、昨年度に引続き、会計監査人より、当会の当該計算関係書類は重要な点を含め取引内容を適正に表示していると認められました。

施設運営につきましては、利用者への個別支援計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、原町ホームにおけるプライバシー保護のための居室改修を含む大規模修繕をはじめ、各事業所において老朽化した設備の更新など利用者の安心・安全を確保するための対策を推進してまいりました。

地域ニーズの対応につきましては、「生活困窮者に対する住まいと食事」の提供、「子育てや介護予防教室などの各種の地域交流会」の開催、「生活困窮者家庭のこども学習室」の運営等各事業所において社会貢献活動を行ってまいりました。特に昭島地区においては、病院を中心に施設間が連携した在宅高齢者の医療的ケアをはじめ、認知症の進行などによる一人暮らし困難者に対する包括的な支援、介護者の入院に伴う相談や施設間の受入れ調整を行うとともに、「地域ケア会議」や「健康サロン」を定期的に開催し、地域包括ケアシステムの推進に努めました。

人材確保につきましては、年度当初より新規学卒者などの積極的な採用を進めてきましたが、介護職員については、その必要数を確保できず、その対策として外国人技能実習生の受け入れや職員紹介制度の新設などの取組みを開始しました。人材の育成・定着につきましては、段階別の法人研修を実施したほか、各支援系グループにおいても、分野別の専門的技術研修などを実施しました。さらにその確保・定着を促進するため、職員宿舍借上げ制度や処遇改善加算を最大限活用するとともに、契約職員に対する新たな退職手当制度の導入や再雇用給与の見直しなどの処遇改善を図りました。

施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援を賜りましたこと心より御礼申し上げます。

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 理事長 飯山幸雄

同 援 だ よ り

平成 30 年度 施設利用状況報告

平成 31 年 3 月 31 日現在

グループ名	種 別	施 設 名	利用状況							職員配置状況							
			定員	利用者数 (3月実績)	1日平均 利用者数	年間 利用者数	年間実施 延日数	年間利用率			正規 職員	契約 職員	非常勤	職員数 合計	常勤 換算		
								30年度	29年度	前年対比							
保育 支 援 系 施 設	保 育 所	むさしの保育園	169	175	175.6	51,273	292	103.9%	105.8%	-1.9%	39	0	17	56	49.8		
		本園	140	146	146.7	42,831	292	104.8%	107.0%	-2.2%							
		方南分園	29	29	28.9	8,442	292	99.7%	99.7%	0.0%							
				昭和郷保育園	100	115	114.8	33,509	292	114.8%	115.3%	-0.5%	22	1	14	37	33.1
				大山保育園	130	132	131.6	38,420	292	101.2%	101.2%	0.0%	27	1	11	39	34.9
				昭和郷第二保育園	190	201	198.5	57,976	292	104.5%	104.0%	0.5%	33	3	20	56	49.2
				みなと保育園	63	63	62.8	18,324	292	99.6%	103.6%	-4.0%	15	0	9	24	21.3
				同援みどり保育園	125	130	130.0	37,960	292	104.0%	104.0%	0.0%	25	4	15	44	38.3
				つつじが丘保育園	110	129	128.5	37,520	292	116.8%	119.0%	-2.2%	27	0	15	42	38.3
				同援さくら保育園	108	117	116.9	34,140	292	108.3%	109.3%	-1.0%	28	1	28	57	40.8
				同援はいじま保育園	50	56	55.3	16,134	292	110.5%	82.0%	28.5%	9	2	14	25	17.1
		保育施設計	1,045	1,118	1,113.9	325,256	—	106.6%	106.1%	0.5%	225	12	143	380	322.8		
高 齢 者 支 援 系 施 設	養護老人ホーム	万世敬老園	200	181	182.9	66,743	365	91.4%	91.0%	0.4%	22	7	17	46	42.6		
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	50	50.0	18,250	365	100.0%	100.0%	0.0%	10	7	6	23	19.4		
	救護施設	昭島荘	100	100	99.8	36,441	365	99.8%	99.8%	0.0%	35	10	9	54	51.1		
		小 計	350	331	332.7	121,434	—	95.1%	94.8%	0.3%	67	24	32	123	113.1		
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業含)	フジホーム	104	100.0	100.8	36,790	365	96.9%	97.6%	-0.7%	39	8	19	66	58.8		
		ニューフジホーム	104	97.8	97.3	35,513	365	93.6%	93.5%	0.1%	41	5	24	70	63.6		
		原町ホーム	52	51.6	51.7	18,855	365	99.3%	99.5%	-0.2%	23	4	18	45	38.3		
		ゆたか苑	54	52.5	51.1	18,637	365	94.6%	96.5%	-1.9%	25	1	11	37	30.9		
		ひかり苑	54	52.7	53.1	19,373	365	98.3%	98.7%	-0.4%	23	11	16	50	39.6		
		小 計	368	354.6	354.0	129,168	—	96.2%	96.7%	-0.5%	151	29	88	268	231.2		
	認 知 症 対 応 型 老 人 共 同 生 活 支 援 事 業 (グ ル ー プ ホ ー ム)	かえで	18	17.3	17.5	6,393	365	97.3%	95.6%	1.7%	3	8	6	17	17.1		
		原町グループホーム	18	18.0	17.3	6,309	365	96.0%	96.0%	0.0%	3	2	13	18	16.4		
		通所介護(予防)事業	フジ・デイサービスセンター	25	18.5	19.0	5,823	307	75.9%	85.0%	-9.1%	3	0	15	18	13.0	
			原町デイサービスセンター	12	3.2	4.5	1,394	307	37.8%	45.7%	-7.9%	1	1	7	9	6.4	
			東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	7.6	7.5	2,304	307	62.5%	69.4%	-6.9%	1	3	5	9	7.3	
		地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	1,595件	53.6件	16,460件	307	—	16,096件	1.02	10	1	1	12	11.5	
			昭島市中部地域包括支援センター あいぼっく	—	1,122件	48.4件	14,133件	292	—	—	—	3	0	4	7	5.8	
		居 宅 介 護 支 援 事 業 所	フジホーム	—	84	—	874	244	—	—	—	2	0	2	4	3.8	
			原町ホーム	—	70	—	914	292	—	—	—	2	0	0	2	2.0	
ゆたか苑			—	81	—	1,092	245	—	—	—	2	1	0	3	3.0		
ひかり苑	—		30	—	461	245	—	—	—	1	0	0	1	1.7			
昭和郷	—		26	—	317	244	—	—	—	1	0	0	1	1.0			
小規模多機能型 居 宅 介 護 事 業	原町小規模多機能居宅介護センター	25	20	22.0	8,031	365	88.0%	85.0%	3.0%	4	3	8	15	13.7			
	昭和郷小規模多機能居宅介護センター	25	17	20.0	7,304	365	80.0%	57.8%	22.2%	4	6	7	17	13.2			
定期巡回・随時対応型 訪 問 介 護 看 護	昭和郷訪問介護センター	—	21	16.8	6,149	365	—	4,416	1.39	7	1	6	14	11.6			
	小 計	135	413.6	139.0	47,365	—	—	—	—	47	26	74	147	127.5			
公 益 事 業	フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	介護職員初任者研修事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	さくらガーデン (サービス付き高齢者向け住宅)	49	44	45.7	16,674	365	93.2%	87.1%	6.1%	1	0	9	10	5.6			
	高 齢 者 施 設 計	902	1,143.2	871.4	314,641	—	93.4%	92.9%	0.5%	266	79	203	548	477.4			

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。

注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。なお、利用者数の合計には算入していない。



同 援 だ よ り

グループ名	種 別	施 設 名		利用状況								職員配置状況				常勤 換算	
				定員	利用者数 (3月実績)	1日平均 利用者数	年間 利用者数	年間実施 延日数	年間利用率			正規 職員	契約 職員	非常勤	職員数 合計		
									30年度	29年度	前年対比						
障害者 支 援 系 施 設	障害者支援施設（入所）	さやま園（居住）	施設入所支援	96	93.5	92.4	33,738	365	96.3%	93.1%	3.2%						
	障害福祉サービス （通所）	さやま園	生活介護	(96)	100	95.0	95.1	25,584	269	99.1%	95.0%	4.1%	52	27	34	113	99.9
			短期入所	4		1.0	1.0	355	365	24.3%	45.4%	-21.1%					
		小茂根福祉園	生活介護	40	70	30.3	30.7	7,453	243	76.7%	80.7%	-4.0%	31	1	4	36	32.4
			就労継続支援B	30		27.7	28.0	6,800	243	93.3%	92.3%	1.0%					
		立川福祉作業所	生活介護	30	80	28.2	26.7	6,515	244	89.0%	95.2%	-6.2%					
			就労継続支援B	44		41.7	42.4	10,341	244	96.3%	117.7%	-21.4%	11	3	17	31	24.2
			就労移行支援	6		2.2	1.9	475	244	32.4%	49.5%	-17.1%					
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	28.9	28.6	6,996	245	95.2%	93.5%	1.7%					
			就労継続支援B	10		9.6	9.9	2,424	245	98.9%	89.8%	9.1%	12	5	9	26	24.5
			短期入所	2		0.3	0.3	113	365	15.5%	28.1%	-12.6%					
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ			—	270	8.3	3,022	365	—	3,345	0.90	18	0	9	27	23.1
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター			—	683	23.4	8,526	365	—	8,945	0.95	21	0	13	34	25.8
	共同生活援助事業 （知的障害者 グループホーム）	アミニティ富士見			6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—
		グリーンハイツ			6	5	5.9	2,159	365	98.6%	100.0%	-1.4%	—	(1)	—	0	—
		フレンズ・モエ			4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—
		パル			6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—
		それいゆ小川			7	7	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(2)	—	0	—
		ファーム竹丘1			6	6	6.0	2,190	365	100.0%	87.6%	12.4%	—	(2)	—	0	—
		ファーム竹丘2			7	7	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—
風のね				10	10	10.0	3,650	365	100.0%	77.5%	22.5%	4	4	5	13	—	
レヂオンス巣鴨				4	4	3.9	1,430	365	97.9%	100.0%	-2.1%	—	(1)	—	0	—	
はなみずき				4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
ユーカリ				4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
夢オハナ				6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—	
結オハナ				6	6	6.0	2,190	365	100.0%	98.2%	1.8%	—	(1)	—	0	—	
特定相談支援事業		さやま園			—	10	—	99	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	立川福祉作業所			—	10	—	61	—	—	—	—	—	—	—	—		
	さくらんぼ			—	5	—	77	—	—	—	—	—	—	—	—		
公益事業	豊島区西部障害支援センター			—	—	—	—	—	—	—	(2)	—	(2)	(4)	—		
障害者施設計				368	1,411.4	464.5	140,258	—	93.6%	93.3%	0.3%	149	40	91	280	229.9	
児童・女性 支 援 系 施 設	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野		20	16	14.7	5,370	365	73.6%	75.4%	-1.8%	8	3	3	14	11.2	
		緊急一時保護事業		1	1	0.3	122	365	33.4%	29.9%	3.5%						
	サンライズ万世		20	17	18.4	6,713	365	92.0%	92.2%	-0.2%	9	1	5	15	11.4		
		緊急一時保護事業		2	2	0.1	51	365	7.0%	16.2%	-9.2%						
	児童養護施設	双葉園		50	46	47.5	17,316	365	94.9%	95.6%	-0.7%	26	5	15	46		
		双葉園		(38)	(34)	35.7	13,028	365	93.9%	94.3%	-0.4%						
	(地域小規模)	高嶋の家		(6)	(6)	6.0	2,180	365	99.5%	99.6%	-0.1%	5	0	0	5	43.4	
	(地域小規模)	くすのき		(6)	(6)	5.8	2,108	365	96.3%	100.0%	-3.7%	3	0	0	3		
		昭島市子どもトワイライトステイ事業		2	15	—	228	365	—	—	—	—	—	—	—		
	婦人保護施設	いこいの家		40	10	11.8	4,292	365	29.4%	32.4%	-3.0%	8	3	4	15	12.7	
児童厚生施設	昭島市児童センターばれっと		—	5,044	161.3	53,079	329	—	—	—	1	3	9	13	7.8		
児童・女性施設計				135	5,151	254.2	87,171	—	71.0%	72.5%	-1.5%	60	15	36	111	86.5	
施設合計				2,450	8,823.6	2,703.9	867,326	—	97.1%	96.8%	0.3%	700	146	473	1,319	1,116.6	
医 療	病 院	昭島病院		199	13,439	553.0	166,985	365	—	—	—	183	13	117	313	238.6	
		入院		199	4,247	138.0	50,370	365	69.3%	68.1%	1.2%						
		外来		—	9,192	415.0	116,615	281	—	—	—						
		昭島病院訪問看護ステーション		—	229	10.8	2,823	262.5	—	—	—	4	1	2	7		
収 益	印 刷	事業局		—	—	—	—	—	—	—	—	14	1	0	15	15.0	
	不動産賃貸	不動産賃貸事業・病院駐車場事業		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
合 計（福祉施設 31、病院 1、事業局 1、その他事業 32）				2,649	22,491.6	3,267.7	1,037,134	—	—	—	—	901	161	592	1,654	1,370.2	

し  
せ  
じ  
通  
信

◆ 2115の家 ◆

いこいの家ではステップハウス事業を行っています。ステップハウスとは退所後に地域生活を希望する利用者が、スムーズに地域移行ができるように施設が単身用アパートを用意し、一定期間、生活訓練を行う地域生活移行支援事業です。現在二人目の利用者が昨年十二月から利用しています。場所は駅に近く、いこいの家から十分以内の距離にあり1Kのアパートを借り実施しています。

施設は衣食住のすべてを提供するため、利用者が自分の生活を自分で考え作り出す機会が不足します。ステップハウスでは時間もお金も生活の仕方も自分で考え自分で決めて行動しなければなりません。そして生活上で負担になるのは食事作りです。今まで食堂にいけば用意してあったごはんがいかにありがたかったか身にしみて感じたようでした。それでも、自分が食べたいものを食べられる自由があり、利用者に「昨日は何食べたの。」と聞くと「昨日の朝はセブンスイレブンのフレンチトーストと卵サラダを食べた。」とうれしそうに顔で一人暮らしの工夫と楽しさが伝わってきました。食事作りだけでなく、お金の使い方も今まで以上に節約したり光熱費を気に

したり自らの生活を意識するようになりました。

現在利用している方は、一人暮らしを半年ほど続けていたうちに都営住宅に応募する機会を得て、運良く入居が決定しました。ステップハウスでの一人暮らしは、施設生活から地域を結ぶ架け橋の役割を果たすことができました。

一人暮らしは気楽で自由な面もありますが、地域生活を続けることはたやすいことではありません。仕事、家事、居住環境の整理整頓、金銭管理、健康管理、時間の管理、周囲との人間関係等生活全般に気を配りながら生活を維持するための力が必要になります。

ここでの体験を一つ一つ積み重ね、自立に向けて前向きに歩いていくて欲しいと願っています。いこいの家を退所した後も職員が定期的な訪問し、生活の見守りや相談に応じて地域生活を応援していきます。

(馬場 記)



◆ 東村山生活実習所 ◆

東村山生活実習所では、毎年五月にいちご狩りに出かけます。職員、利用者を合わせて二十名という大所帯で外出します。今年は、五月十五日(水)と二十二日(水)に実施しました。

今でこそ、いちご狩りは、年中行事の一つになりました。しかし当初の計画段階では、不安材料が多く、実行に二の足を踏みました。

いちご狩りが始まった経緯は、数年前に地域の情報誌にいちご狩りが掲載されたことに始まります。これが何気なく見ていた職員の目に留まりました。外出の企画にいちご狩りを盛り込むと面白いのではないかとこの思いがある一方で、不安も頭をよぎりました。ビニールハウスという慣れない環境や少ない経験の中、落ち着いて過ごせるか、自分でいちごを摘むことができるか、あるいは食べ過ぎないか等々、不安材料を挙げればきりがありません。外出の企画は、利用者が安全に楽しめる内容であることはもちろんの事、利用者の方一人ひとりの障害特性や身体状況などにも十分な配慮を要します。これらについて入念に検証し準備を進めました。

さて、実際にいちご狩りに出かけると職員が抱いていた不安はどこへやら。盛況のうちに終わりました。利用者は、新鮮な果物を自分自身でもいで食べる楽しさや喜びを感じ

れ、普段とは違う表情や笑顔が見られました。外出を終えると利用者の方には良い思い出となり、職員にも良い経験と自信につながりました。

職員は、利用者支援に合理的配慮を重ねます。しかしこれも度が過ぎると利用者が持っている力を奪いかねないことを実感しました。過ぎたのは猶及ばざるが如しと言えるエピソードでした。

当施設は、利用者の方々の社会参加や活動の機会につながる取り組みを力を入れております。外出もこのような機会の一つと考えます。今後利用者の方々の日々の活動が充実するように企画してまいります。

(障子田 記)



◆ 同援みどり保育園 ◆

年長クラスのけやき組は、地域貢献や地域交流の一環として、『ゴミ拾い』を毎月行っています。一人ずつ片手に軍手をつけ、歩道や公園に落ちていたゴミを探すと、見つける度に、「あつたよー」と言って友達や保育士に知らせ、毎回二〜五キロ程のゴミを拾って帰ってきます。地面に埋まっていたりなかなか取れない物や手が届かない物を見つけると、自然と協力し合って拾っています。中には、ガラスやたばこの吸い殻など危険なものも落ちていた事がありますが、そのようなものは、火ばさみを使い、直接手が触れないように気をつけながら拾っています。ゴミ拾いを



通して、子ども達は街がキレイになる喜びを味わったり、地域の人に「偉いね」「ありがとう」と声を掛けられると嬉しそうにしています。そして、自分達が行ったことで、誰かの役に立ったり、感謝をされる事を経験するなかで、自信や喜びが芽生えて来ている。一人の子がゴミ拾いをしていて「そこにゴミ箱があるのに、何でこんなところに落ちていたんだらうね」と言っていたことがあります。子ども達はゴミ拾いを通して、地域貢献や交流だけでなく、社会のモラルやマナーも学んでいます。ゴミを拾う子ども達から大人も子どもに恥じない振る舞いをしなくてはならないと教えられました。これからも、地域の方との触れ合いや地域貢献を子ども達と共に行って行きたいと思っています。

(寺島 記)

◆ フジホーム ◆

フジホームでは、二十年以上前から日本歯科大学と連携し、利用者の口腔ケアの支援を行っています。その時から協力していただいている歯科の先生には、現在も熱心に職員指導をいただいています。また、別途訪問歯科も導入しており、必要に応じてどちらの歯科にも診てもらえる体制を整えています。日本歯科大学の時から月二回来ていただいている鹿島先生の診察は、長く施設で指導していただいていることもあって、施設や職員を良く理解していただき、利用者の口腔ケアについて、なんでも相談することが出来ます。利用者も身近な存在として、とても信頼してくれています。鹿島先生からは「昔に比べて、本当にきれいななっています。職員の方々も口腔ケアの知識や技術が身に付き、ちよつとした気づきや、問題の発見が大変早くなっています。最近では、揺れている歯があるから、抜歯した方がいいでしょうとか？など職員の方から色々声をかけてくれることが増えてきました。この調子で引き続き利用者の口腔衛生の保持に努めて下さい」とお話をいただきました。

毎週金曜日は音楽クラブとして音楽療法を行なっています。音楽療法の講師やボランティア

に来てもらい、多くの利用者が参加されています。クラブの特徴として、職員、利用者、それぞれに役割があることです。利用者は大きい太鼓からタンバリン、鈴などそれぞれに役割を持っていただいで、音楽を演奏することで、身体機能の維持、向上に努めています。職員も音楽クラブの担当は、利用者が歌いやすいように歌詞を先読みしたり、音頭をとったり、日に技術が向上しています。これからは音楽クラブはフジホームの集団ケアの一つとして、利用者の楽しみを継続していけるようにしていきたいと思っています。

(福島 記)



バザー等ご協力  
ありがとうございました

- 東村山生活実習所まつり  
六月二日(日)
- サンライズ武蔵野 バザー  
六月二十二日(土)
- むさしの保育園方南分園夕涼み会  
六月二十八日(金)
- 小茂根福祉園こもねフェスタ  
七月六日(土)
- 大山保育園 夏祭り  
七月十二日(金)
- 同援はいじま保育園夕涼み会  
七月十二日(金)

お知らせ

左記の予定でバザーや夏まつり等  
を開催致します。  
品物のご寄附ご協力等よろしくお  
願い致します。

- つつじが丘保育園 夏祭り  
七月十八日(木) 十七時～
- 同援さくら保育園 さくらフェス  
七月二十日(土) 十六時～
- さやま園 夏祭り  
七月二十三日(火) 十七時～
- 昭和郷 納涼の夕べ  
七月二十五日(木) 十七時～
- さいわい福祉センター夕涼み会  
八月三日(土) 十七時～
- 同援みどり保育園  
バザー・夏祭り夕涼み会  
八月二十四日(土) 十二時～

○立川福祉作業所 すぎな祭  
九月十四日(土) 十一時～

○ゆたか苑 地域交流バザール  
十月十二日(土) 十時～

○さやま園祭(ひかり園・サンホーム合同開催)  
十月二十日(日) 十時～

○むさしの保育園・サンライズ  
武蔵野 はじっこハロウィン  
十月二十六日(土) 十時三十分～

○昭和郷フェスティバル  
十一月三日(日) 十時～

○小茂根福祉園 こもねまつり  
十一月九日(土) 十時三十分～

○さくらんぼ さくらんぼ祭り  
十一月十日(日) 十二時三十分～

資格取得の紹介

次の方々が資格取得しました。  
日頃の業務に活かし、ご活躍を期  
待します。

【社会福祉士】

- フジ・デイサービスセンター  
相談員 谷口 博昭
- 原町小規模多機能  
居宅介護センター  
介護職員 峰 真理子
- ひかり苑  
介護職員 森 有里
- 万世敬老園  
支援員 兵藤莉都子
- さやま園  
生活支援員 長瀬 紗織
- 昭島病院  
ソーシャルワーカー  
井原 純子

【介護福祉士】

- フジホーム  
介護職員 首藤 一美
- ニューフジホーム  
介護職員 平山 淳
- 介護職員 長谷川 涼
- 原町ホーム  
介護職員 市橋 美奈
- 介護職員 三橋 京将
- ゆたか苑  
介護職員 田重田優子
- さやま園  
生活支援員 秋本 和広
- さいわい福祉センター  
生活支援員 坂本 貴弘
- 立川福祉作業所  
生活支援員 坂本 貴弘

祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績に対し、次の方々が表彰  
されました。おめでとうございます。

○全国母子生活支援施設協議会  
会長表彰

- サンライズ武蔵野  
少年指導員 鶴橋 隆彦

○東京都知事感謝状

- さやま園  
施設長 荒井 隆夫

○東京都社会福祉協議会  
会長感謝状

- ひかり苑  
主任相談員 片岡 由佳
- 管理栄養士 山川 聡

○板橋区社会福祉法人施設等  
従事者永年勤続(十年)表彰

- 小茂根福祉園  
生活支援員 戸張 美樹

雑感

「褒めて伸ばす」：そんな言葉を子育てや教育の現場のみならず、一般企業でも実践しているケースが増えてきている。アメリカの教育心理学者が行った実験では教師に褒められて期待された生徒と、そうでない生徒では成績の伸びに明らかな違いが見られるという報告は有名な話。他人から期待される事によって学習や作業など成果、意欲が高まる現象は「ピグマリオン効果」と言われている。

以前、私は運動不足解消に、某Jリーグのチームが主催する社会人を対象としたサッカー教室に毎週一回通っていた時期があった。コート陣も元Jリーガーで指導に関してもプロ。どんな指導を受けるのだろうと期待と不安を感じていたが、とにかくポジティブな声掛けがあり、ミスをしたとしても声掛けには賞賛、消極的なプレイヤーにも具体的なアドバイスとポジティブな声かけ。大人になると褒められることに不慣れで照れや恥ずかしもあるが内心嬉しくない訳がない。気づけば毎週教室に参加している。成績(技術)向上はさておき意欲はあった。これも「ピグマリオン効果」だろうか。(河野 記)

―表紙の写真―

「南伊豆 弓ヶ浜にて」  
(神田真花氏)

令和元年七月十五日 発行  
東京都新宿区原町三の八  
電話 〇三(三三四一)七六一  
社会福祉法人 財団法人 東京都同胞援護会  
発行者 飯山幸雄  
印刷所 東京都同胞援護会事務局  
東京都墨田区両国四一―八  
<http://www.doen.jp/>